

松山市地域振興構想策定概要

1. 構想策定の背景

【屋根のない博物館】

本市は、平成12年から『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想に基づき、各地域の特性を生かし、回遊性の高い物語のあるまちづくりを進めてきた。

【市民が主役のまち】

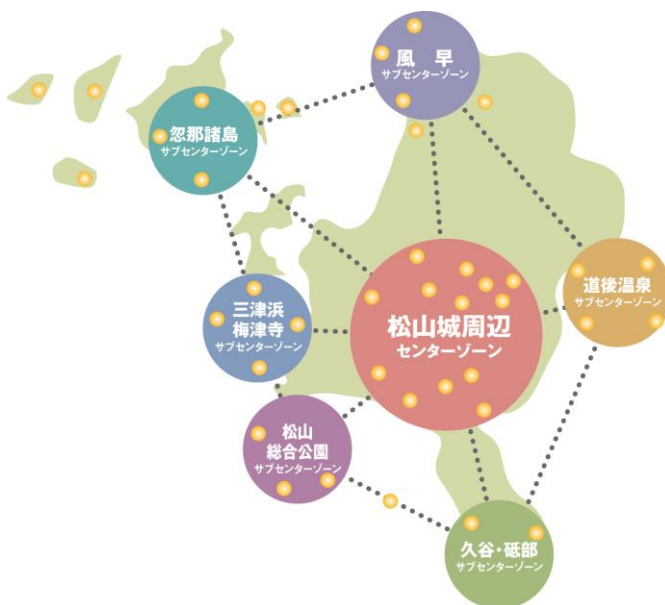
市民主体のまちづくりを実現するため、平成18年に、松山市地域におけるまちづくり基本構想を策定し、各地域で市民の手によるまちづくりが進んでいる。

【特色を生かした地域振興】

平成24年からは、サブセンターゾーンの地域振興を重点的に進めるため、愛ランド里島構想、風早レトロタウン構想、三津浜地区活性化計画を策定し、10年にわたり地域の賑わいを創出してきた。

【更なる賑わい創出に向けて】

令和7年は、『坂の上の雲』のまちづくりのスタートから四半世紀の節目となる。この機を捉え、これまでの取り組みを振り返るとともに、地域課題や特性を見つめなおし、地域一体となって、持続的に地域の賑わいを生み出すための将来ビジョンを策定する。



2. 基本方針

- ①『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想に基づく、各ゾーンを中心に、各地域の特性を踏まえた地域振興のあり方を示すものとする。
- ②モデル的なまちづくりを重点的に進めてきた「忽那諸島」「風早」「三津浜・梅津寺」のサブセンターゾーンの取り組みを継承・発展させる。
- ③認定まちづくり協議会をはじめ、各地域コミュニティ組織との連携を生かし、市内全体の活性化につなげる。
- ④第7次松山市総合計画の基本構想等の方針を踏まえ、整合性を図る。
- ⑤各地域を中心に、広く市民の意見を取り入れる機会を設け、市民参加を推進する。
- ⑥将来ビジョンや目標を若者から高齢者まで、広く地域住民と共有する。

3. 計画の構成について

(1) 構想

① 基本方針

松山市の地域振興の将来ビジョンや基本目標を定めたものであり、これまでの取り組みの成果や現況分析、将来予測に基づき策定する。

② 地域編

ゾーン毎の地域特性や課題、将来予測に基づき、地域毎の基本目標や具体的な政策を掲げる。

ア. 松山城周辺センターゾーン

イ. サブセンターゾーン

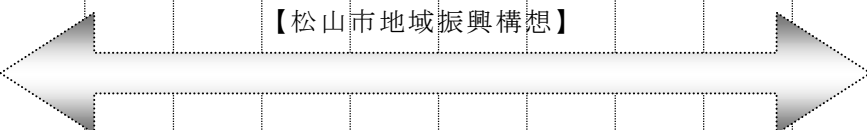
(道後温泉、久谷・砥部、松山総合公園、三津浜・梅津寺、忽那諸島、風早)

ウ. 地域コミュニティ組織との連携

(2) 実施計画

各地域の政策に基づき主要事業の内容や期間を計画するもので、毎年見直し(ローリング方式)を実施する。

4. 計画期間

年 度	R 7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
構 想										
実施計画										

5. 策定体制等

【庁内体制】

①松山市地域振興構想策定会議

- ア. 構成 庁議メンバー
- イ. 役割 地域振興構想の策定に関する総合調整

【庁外体制】

①松山市地域振興構想策定懇話会

- ア. 開催時期 令和5年8月～令和6年10月頃
- イ. 構成 各地区代表者、学識経験者、公募(学生)
- ウ. 役割 地域振興構想(案)に対する意見

②市民参加

- ア. 各地域説明会、アンケート調査
 - ・対象者 各地域住民
- イ. パブリックコメント
 - ・実施募集 令和6年10～11月頃
 - ・対象 市民及び市外からの通勤・通学者 年齢制限なし
- ウ. その他、市民参加の方策として、市民からの提案やアイデアをいただく場を検討する。

【市議会】

- ①策定の方針及びスケジュールをお示しする。
- ②策定の進捗に合わせ適宜報告、説明し、意見や助言をいただく。

6. 策定スケジュール

< 策定スケジュール >

